

# 令和6年度 学校評価

## 1 回答者

実施日 令和6年12月2日(月)～12月23日(月)

生徒19名(在籍19名) 保護者16名(回収率100%) 教職員11名 学校運営協議会委員7名

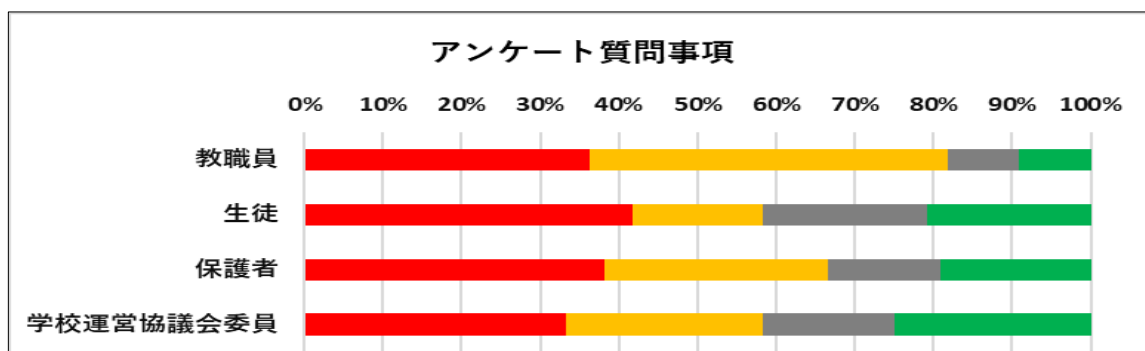
## 2 回答方法

各質問事項に対して、「1あてはまる」「2ややあてはまる」「3あまりあてはまらない」「4あてはまらない」の4段階で回答していただき、「1あてはまる」「2ややあてはまる」を肯定的意見、「3あまりあてはまらない」「4あてはまらない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

## 3 結果の活用

調査結果は1月に取りまとめ、全ての教職員に配付して課題や改善点を明らかにしました。そこから得たものを7年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標に反映させていきます。

また、保護者や学校運営協議会委員の方にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべきは積極的に改善するよう努めています。



■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

割合については、少数点第1位を四捨五入して表記していますので合計が100%になっていないことがあります。

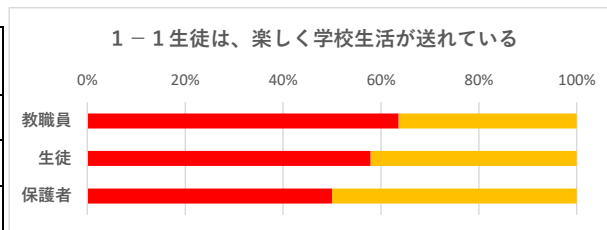


阿南市立福井中学校

# 1 学校生活に関すること

## 1-1 学校生活が楽しい

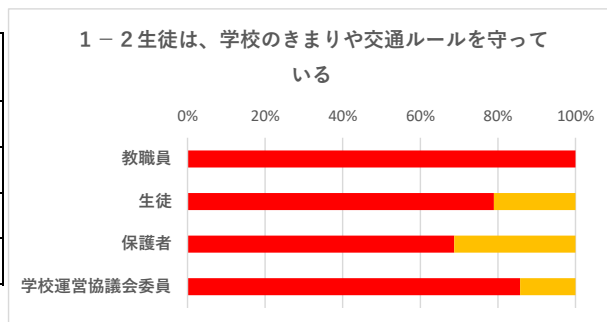
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	7 ( 64%)	4 ( 36%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	11 ( 58%)	8 ( 42%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
保護者	8 ( 50%)	8 ( 50%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、楽しく学校生活を送れている  
 生徒 学校生活は楽しい  
 保護者 お子さんは、学校生活を楽しく送れている

## 1-2 学校の決まり、交通ルール

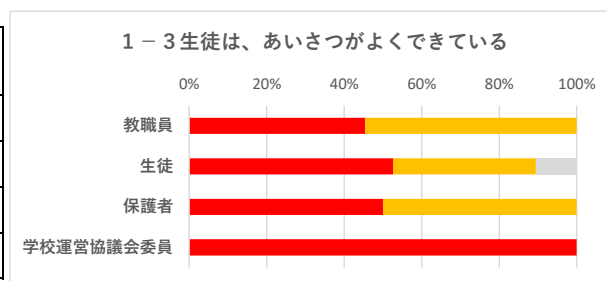
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	11 ( 100%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	15 ( 79%)	4 ( 21%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
保護者	11 ( 69%)	5 ( 31%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	6 ( 86%)	1 ( 14%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、学校のきまりや交通ルールを守っている  
 生徒 自分は、学校のきまりや交通ルールを守っている  
 保護者 福中生は、学校のきまりや交通ルールを守っている  
 学校運営協議会委員 福中生は、学校のきまりや交通ルールを守っている

## 1-3 あいさつ

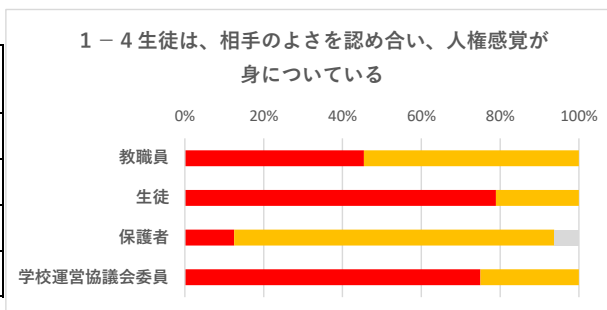
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	5 ( 45%)	6 ( 55%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	10 ( 53%)	7 ( 37%)	2 ( 11%)	0 ( 0%)
保護者	8 ( 50%)	8 ( 50%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	7 ( 100%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、あいさつがよくできている  
 生徒 自分は、あいさつがよくできている  
 保護者 福中生は、あいさつがよくできている  
 学校運営協議会委員 福中生は、あいさつがよくできている

## 1-4 人権、仲間づくり

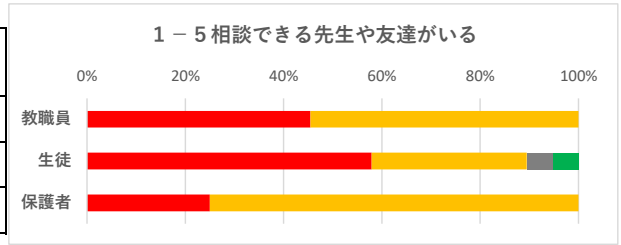
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	5 ( 45%)	6 ( 55%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	15 ( 79%)	4 ( 21%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
保護者	2 ( 13%)	13 ( 81%)	1 ( 6%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	3 ( 75%)	1 ( 25%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、相手のよさを認め合い、人権感覚が身についている  
 生徒 自分や相手のよさを認め合い、いじめのない仲間づくりができている  
 保護者 福中生は、自分や相手のよさを認め、いじめのない仲間づくりができている  
 学校運営協議会委員 福中生は、自分や相手のよさを認め、いじめのない仲間づくりができている

1-5 教育相談

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	5 ( 45%)	6 ( 55%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	11 ( 58%)	6 ( 32%)	1 ( 5%)	1 ( 5%)
保護者	4 ( 25%)	12 ( 75%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒の悩み事や相談に適切に対応することができる  
 生徒 相談できる先生や友達がいる  
 保護者 福中は子どもの相談や悩み事に適切に対応している

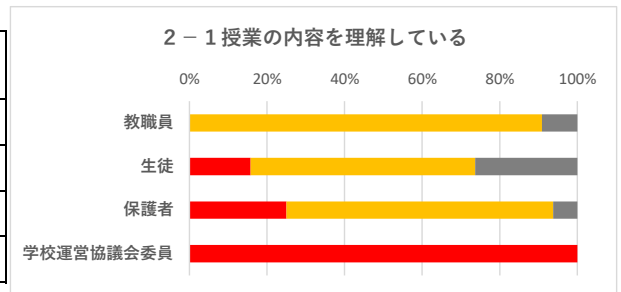
1の考察

生徒、保護者、教職員のそれぞれで「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合が多く(5項目すべてにおいて改善)、小規模校の利点を生かした一人一人をしっかりと見つけ、きめ細やかな支援を展開してきた成果であると思われる。しかしながら、「相談できる先生や友達がいる」の問いに対して、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた生徒の回答がそれぞれ1名あり、教職員との意識のずれがあった。保護者やスクールカウンセラーと連携し、生徒との積極的な個人面接や心や体の変化に気づくことができる体制をさらに整えていきたい。「あいさつ」に関して、学校運営協議会委員も含め「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答の割合が昨年度に比べ増えている。今後は、あいさつでお互いの存在を大切にできる指導も心がけたい。これからも学校だけでなく、保護者や地域との連携を強化し、生徒理解に努め、一人一人に応じた支援体制の構築に取り組んでいきたい。

2 学習に関すること

2-1 授業理解

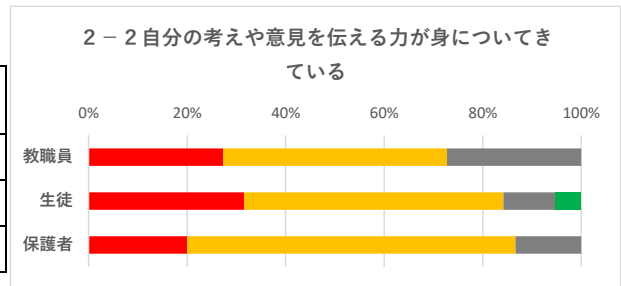
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	0 ( 0%)	10 ( 91%)	1 ( 9%)	0 ( 0%)
生徒	3 ( 16%)	11 ( 58%)	5 ( 26%)	0 ( 0%)
保護者	4 ( 25%)	11 ( 69%)	1 ( 6%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	3 ( 100%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、授業の内容をよく理解している  
 生徒 自分は、授業の内容をよく理解している  
 保護者 福中生にとってわかりやすい授業ができている  
 学校運営協議会委員 福中生にとってわかりやすい授業ができている

2-2 コミュニケーション、表現力

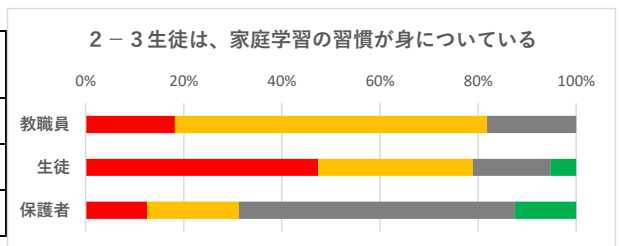
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	3 ( 27%)	5 ( 45%)	3 ( 27%)	0 ( 0%)
生徒	6 ( 32%)	10 ( 53%)	2 ( 11%)	1 ( 5%)
保護者	3 ( 20%)	10 ( 67%)	2 ( 13%)	0 ( 0%)



教職員 生徒は、自分の考えや意見を伝える力が身につけてきている  
 生徒 自分は、自分の考えや意見を伝える力などの表現力が身につけてきている  
 保護者 福中生は自分の考えや意見を伝える力が身につけてきている。

2-3 家庭学習

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	2 ( 18%)	7 ( 64%)	2 ( 18%)	0 ( 0%)
生徒	9 ( 47%)	6 ( 32%)	3 ( 16%)	1 ( 5%)
保護者	2 ( 13%)	3 ( 19%)	9 ( 56%)	2 ( 13%)

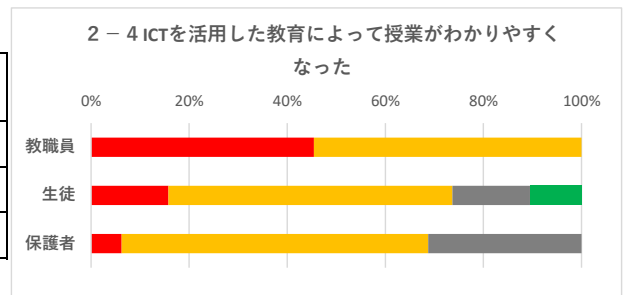


教職員 生徒は、家庭学習の習慣が身につけている  
 生徒 自分は、家庭学習をする習慣が身につけている  
 保護者 お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている

## 2-4 ICT活用

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	5 ( 45%)	6 ( 55%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	3 ( 16%)	11 ( 58%)	3 ( 16%)	2 ( 11%)
保護者	1 ( 6%)	10 ( 63%)	5 ( 31%)	0 ( 0%)

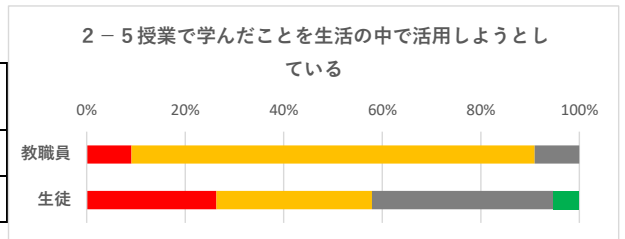
教職員 学習活動においてICTを効果的に活用することができている  
 生徒 ICT(タブレット等)を活用することによって授業がわかりやすくなった  
 保護者 福中はICT(タブレット等)を効果的に活用している



## 2-5 生活への活用

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	1 ( 9%)	9 ( 82%)	1 ( 9%)	0 ( 0%)
生徒	5 ( 26%)	6 ( 32%)	7 ( 37%)	1 ( 5%)

教職員 生徒は、授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている  
 生徒 授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている



## 2の考察

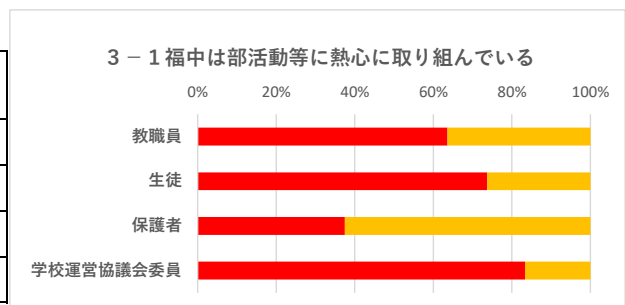
授業理解の項目においては「あまりあてはまらない」と回答した生徒が5名と昨年度より改善しているが個別への学びへのサポートが必要である。個に応じた指導を心掛けながら、生徒が目的意識をもってより意欲的に取り組めるようにしていきたい。自分の考えや意見を伝える力の育成では、昨年度より、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒、保護者の割合が15%程度上昇しており、人権劇や日々の意見発表の活動を通して身につけてきたように思われる。授業における工夫等に加え、学校生活・行事の中で活躍する場面を設定していきたい。家庭学習の項目においては「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した保護者が、改善傾向にあるが69%と多い。本年度、生徒に実施した「生活・学習アンケート」より、次の2点が可視化された。1点目は、家庭学習の時間は、個人・学年により違いがある。平均して、90分以上の家庭学習をタイムマネジメントできることが大切。2点目は、授業を大切にし、個人にあった学習方法を自立・自律した生活から探す努力が必要。自主学習ノートの質や量については、年間5冊以上の積み重ねができており向上している。ICTの効果的な活用では、「ICTは魔法の薬ではない」ことに留意する必要がある。一人一台のタブレット型PC活用において「学習内容の獲得や定着に資するかどうか」を改めて検討する必要がある。よって、従来型の学習方法とのハイブリットとなり教員側での活用への知識や意図、生徒個人への配慮も必要となる。

## 3 体力づくりに関すること

### 3-1 部活動

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	7 ( 64%)	4 ( 36%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	14 ( 74%)	5 ( 26%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
保護者	6 ( 38%)	10 ( 63%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	5 ( 83%)	1 ( 17%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)

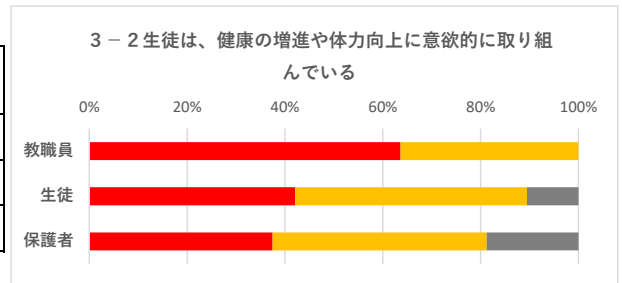
教職員 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる  
 生徒 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる  
 保護者 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる  
 学校運営協議会委員 福中は、部活動等に熱心に取り組んでいる



### 3-2 健康、体力づくり

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	7 ( 64% )	4 ( 36% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
生徒	8 ( 42% )	9 ( 47% )	2 ( 11% )	0 ( 0% )
保護者	6 ( 38% )	7 ( 44% )	3 ( 19% )	0 ( 0% )

教職員 福中は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる  
 生徒 自分は、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる  
 保護者 お子さんは、健康の増進や体力向上に意欲的に取り組んでいる



### 3の考察

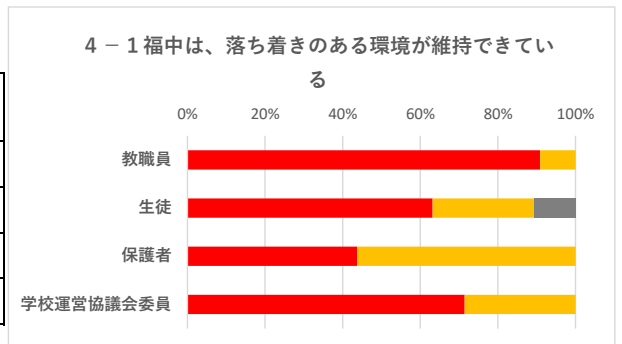
部活動の質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」との回答が昨年の80%から100%に改善しており、熱心に取り組むことができている。今後も生徒一人一人が、成長できるようにしていきたい。保護者や生徒に部活動の意義や運営方法について理解を図るとともに、安心・安全に活動できる部活動運営の工夫に努めていきたい。健康・体力づくりでは、全ての教職員は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答。生徒についても89%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答。朝の体力づくりへの参加生徒の割合も80%以上となっており、生徒一人一人が健康の増進・体力向上に意欲的に取り組んでいると思われる。また、今年度は、地域の駅伝大会の参加し楽しみながら、体力向上を実感できた。今後も健康教育の充実に取り組むとともに、心と体の健康について個別指導を行っていきたい。

### 4 学校環境に関すること

#### 4-1 落ち着きのある環境の維持

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 ( 91% )	1 ( 9% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
生徒	12 ( 63% )	5 ( 26% )	2 ( 11% )	0 ( 0% )
保護者	7 ( 44% )	9 ( 56% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
学校運営協議会委員	5 ( 71% )	2 ( 29% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )

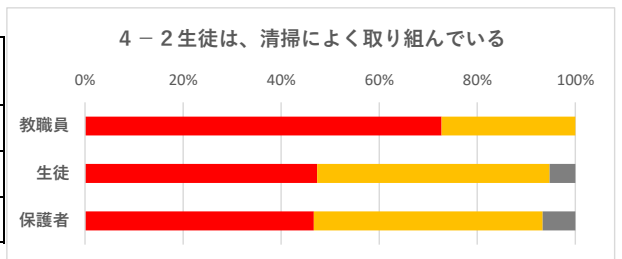
教職員 福中は、落ち着きのある環境が維持できている  
 生徒 福中は、落ち着きのある環境が維持できている  
 保護者 福中は、落ち着いた環境が維持できている  
 学校運営協議会委員 福中は、落ち着いた環境が維持できている



#### 4-2 清掃活動への取組

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	8 ( 73% )	3 ( 27% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
生徒	9 ( 47% )	9 ( 47% )	1 ( 5% )	0 ( 0% )
保護者	7 ( 47% )	7 ( 47% )	1 ( 7% )	0 ( 0% )

教職員 福中は、清掃によく取り組んでいる  
 生徒 自分は、清掃によく取り組んでいる  
 保護者 福中生は、清掃によく取り組んでいる



### 4の考察

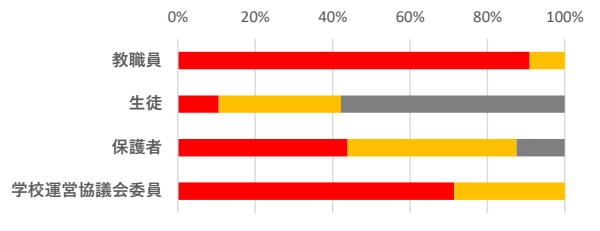
落ち着きのある環境の維持においては、教職員・保護者は100%が、生徒は89%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」肯定的な意見を示している。朝の全校読書や授業規律の確保など、落ち着きのある生活をめざした取組の成果が現れている。また、これまで施設の修繕や掲示物の工夫など、教育環境の整備に努めてきたことで、落ち着きのある環境が維持できている。今後も継続していきたい。清掃活動では、教職員100%、生徒95%、保護者94%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した。年末の大掃除では、全校生徒で体育館のワックスがけを一生懸命取り組むことができた。普段の清掃でも時間いっぱい取り組めるよう、教師が寄り添い声がけ等をしていくことが必要である。

## 5 開かれた学校づくりに関すること

### 5-1 ホームページ、学校通信

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 ( 91%)	1 ( 9%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	2 ( 11%)	6 ( 32%)	11 ( 58%)	0 ( 0%)
保護者	7 ( 44%)	7 ( 44%)	2 ( 13%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	5 ( 71%)	2 ( 29%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)

5-1 ホームページや福中通信、学年通信等は、学校理解に役立っている

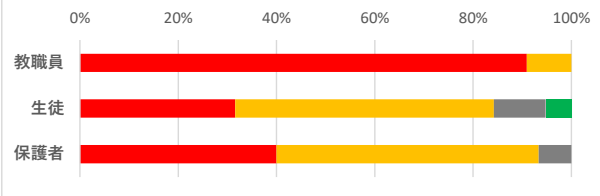


教職員 ホームページや福中通信、学年通信等は、学校理解に役立っている  
 生徒 自分は、ホームページや福中通信、学年通信をよく読んでいる  
 保護者 ホームページやマチコミ、福中通信、学年通信等により学校の取組や生徒の活動の様子がよく分かる  
 学校運営協議会委員 ホームページやマチコミ、福中通信、学年通信等により学校の取組や生徒の活動の様子がよく分かる

### 5-2 授業参観や面談の実施

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 ( 91%)	1 ( 9%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	6 ( 32%)	10 ( 53%)	2 ( 11%)	1 ( 5%)
保護者	6 ( 40%)	8 ( 53%)	1 ( 7%)	0 ( 0%)

5-2 授業参観や面談等は生徒の向上に役立っている



教職員 参観授業や面談等を、適切に実施することができた  
 生徒 参観授業や面談は自分自身の向上に役立っている  
 保護者 参観授業や面談等は、適切に実施できている

## 5の考察

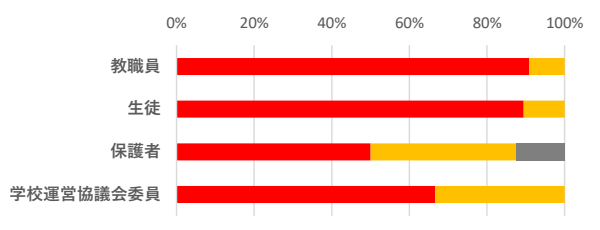
ホームページ・学校通信の質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた保護者は88%で情報共有において有効な取組である。日々の学習活動の様子等を頻繁にホームページで更新することや、学校行事の写真や生徒の感想文の掲載を学校通信で行うなど、取組の成果が見られた。昨年よりは改善したが、生徒の半数以上が福中通信や学年通信をあまり読んでいない。帰りの学活で担任が朗読し、記事の内容を読み解き生徒から意見を引き出す、学校の廊下にデジタルサイネージを設置し映像を通しての情報発信をするなど実施している。授業参観や面談の適切な実施については、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた保護者は93%であった。多くの保護者の方が出席してくださり、学校の教育活動への理解につながっている。授業参観や面談が自分自身の向上に役立っているかとの質問では「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と3人の生徒が回答している。参観授業において、一人一人の生徒にあった見せ場を設定するなどの工夫をするともに、面談等が個々の生徒の成長を伝え、目標を共有する場になるよう見直していきたい。

## 6 学校行事に関すること

### 6-1 学校行事は楽しい

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 ( 91%)	1 ( 9%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
生徒	17 ( 89%)	2 ( 11%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)
保護者	8 ( 50%)	6 ( 38%)	2 ( 13%)	0 ( 0%)
学校運営協議会委員	4 ( 67%)	2 ( 33%)	0 ( 0%)	0 ( 0%)

6-1 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

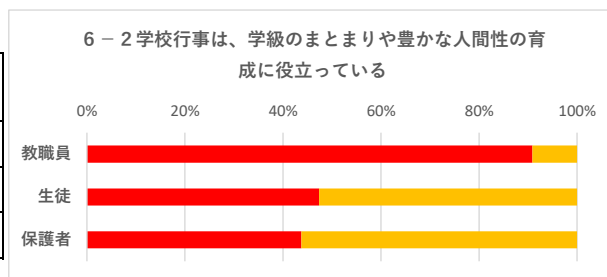


教職員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている  
 生徒 福中の学校行事は楽しい  
 保護者 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている  
 学校運営協議会委員 学校行事は、生徒にとって楽しいものとなっている

## 6-2 学校行事は学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	10 ( 91% )	1 ( 9% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
生徒	9 ( 47% )	10 ( 53% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
保護者	7 ( 44% )	9 ( 56% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )

教職員 学校行事は、学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている  
 生徒 学校行事は、学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている  
 保護者 学校行事は、学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている



## 6の考察

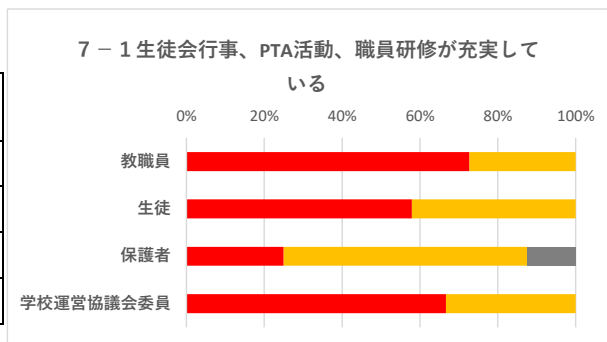
学校行事は楽しいと生徒の100%が回答した。昨年度の95%に引き続き良好な結果である。「学校行事は学級のまとまりや豊かな人間性の育成に役立っている」の質問では、教職員・保護者・生徒の100%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した。コロナ禍からの脱却が進む中、学校生活も徐々に日常を取り戻しつつある。一見するとコロナが終わったかのように見えるが、実際には多くの生徒や保護者、教職員が新しい日常に心も体も適応しようと努力している。本年度の秋になり生徒のマスクを着用する姿も徐々に減少し、教室内での笑顔が頻繁に見られるようになってきた。この変化は、学校生活におけるコミュニケーションや学びの質を向上させる大きな一歩である。生徒は自分たちでできることを考え、主体的に行事を計画・実行したことで、学級の仲間意識が高められ、他を思いやる気持ちが育まれたと考えられる。このことを踏まえ、学校行事の内容をさらに充実させ、継続していく必要がある。

## 7 その他

### 7-1 生徒会行事、PTA活動、職員研修の充実

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教職員	8 ( 73% )	3 ( 27% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
生徒	11 ( 58% )	8 ( 42% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )
保護者	4 ( 25% )	10 ( 63% )	2 ( 13% )	0 ( 0% )
学校運営協議会委員	4 ( 67% )	2 ( 33% )	0 ( 0% )	0 ( 0% )

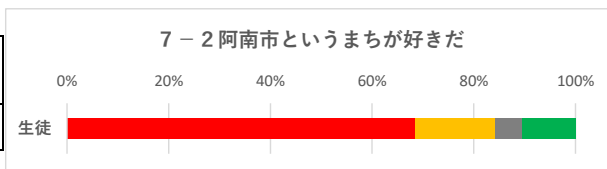
教職員 職員研修は有意義なものになっている  
 生徒 生徒会活動は生徒の意見を反映し充実している  
 保護者 PTA活動は会員の意見をもとに、充実した活動ができている  
 学校運営協議会委員 福中は保護者や地域の願いに応えた教育活動を行っている



### 7-2 郷土愛

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	13 ( 68% )	3 ( 16% )	1 ( 5% )	2 ( 11% )

生徒 阿南市というまちが好きだ



## 7の考察

生徒会、PTA活動、職員研修の充実に関する質問では「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた教職員が100%、生徒が100%、保護者が88%学校運営協議会委員100%となっており、昨年度に引き続きその割合は多くなっている。しかし、「あまりあてはまらない」が保護者が13%(昨年度21%)あり、参加者の意見や要望をしっかりと聞きながら、一人一人が主体的に活動することができるPTA活動を考えていく必要があると感じる。昨年度より、PTA本部役員数、専門部の統合など新しい組織で活動している。今後も持続可能な運営について保護者等と協議をしていく必要がある。「阿南市というまちが好きだ」の質問では、84%(昨年度79%)の生徒が肯定的な意見をもっている。総合的な学習の時間等を通してふるさと学習に取り組んできた成果である。生徒が自分たちの福井町を好きになり、将来のふるさとを支える意識を育むことができるような実践を着実に進めていきたい。